

## 8 その他 よくある質問

### ①他の魚はKHVにかかりますか？

今のところ他の種類の魚がKHVで死んだという報告はありませんが、死ななくてもウイルスを持っている可能性が考えられます。いまのところはっきりした答えはわかっていません。

### ②水温が低いとKHV病にかからないのですか？

KHV病は水温が13℃以下の場合、感染しても死なないという事例が報告されています。ただし、その後水温を上げたところ発病して死んだという事例も報告されています。そのため13℃以下では、ウイルスを持っていても発病しない(死なない)可能性が考えられます。

### ③よそから持ってきた魚を入れたら、翌日に飼っていたコイがみんな死んでしまいました。KHV病の可能性はありますか？

KHV病の潜伏期間(病原体が体に入ってから発病するまでの期間)は、水温18℃～25℃においては2～3週間と考えられています。翌日ということであれば、新しいコイがもし仮にKHV病のウイルスを持っていたとしても、それが原因で死んだとは考えにくいでしょう。

### ④KHV病の検査を東京都で行った場合、その結果は公表されるのですか？

KHV病の検査結果については、陽性・陰性どちらの場合でも関係者にお知らせします。陽性が出た場合については、国へ報告され公表されますが、民間の施設の場合、施設名が公表されることはありません。

### ⑤検査で一度陰性と判定されたらもう大丈夫ですか？

KHV病の検査は、検査をした個体が感染しているかどうかの検査です。検査で陰性がでて、他の個体や飼育施設の陰性をすべて証明できるものではありません。また、潜伏期間中などでコイに症状が出ていない場合、ウイルスの遺伝子を検出できないことがあります。検査で陰性が出た後も引き続き観察を行って、コイの死亡が続くなどの異常が出ている場合は、島しょ農林水産総合センターにご相談下さい。